

ふるさとキャリア教育の推進

羅臼町立知床未来中学校
 校長 谷村 靖志
 担当者 菅原 晋

1 活動の趣旨

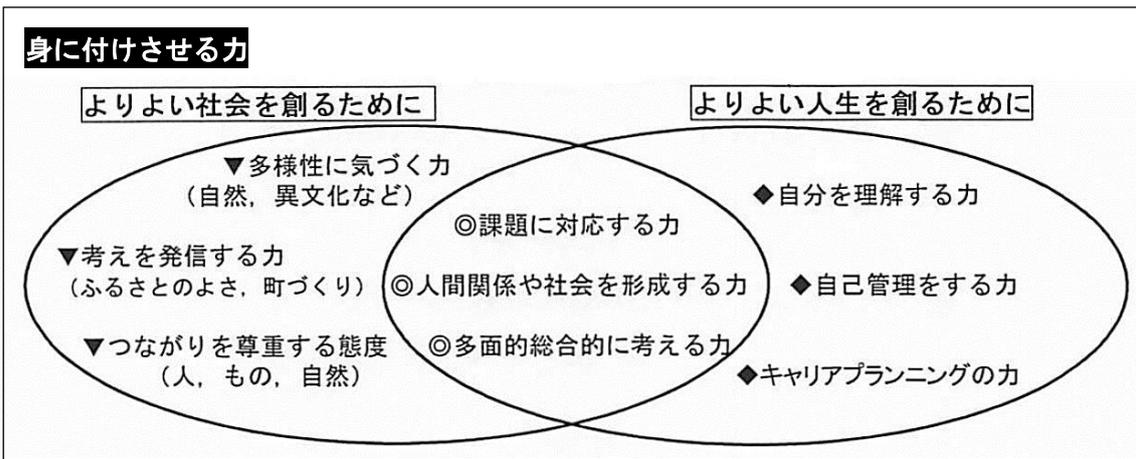
学校の教育目標

- (1) 自ら学び深く考える力
- (2) 清らかで自他を愛する心
- (3) 健やかでたくましい体

校訓 【ふるさとに生き、未来を拓く】



目指す学校像 生徒が笑顔で伸び伸びと活動する学校
目指す生徒像 自分やふるさとの未来を創る生徒
目指す教職員像 信頼され魅力あふれる教職員



2 活動計画

		第1学年	第2学年	第3学年
学 習 活 動	地域の特色を生かした学習活動 -ふるさと学習	<ul style="list-style-type: none"> ・知床半島調査 ・一斉調べ学習 ・クマ学習など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知床半島調査 ・一斉調べ学習 ・生態系学習など ・コンプ学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・知床半島アピール ・一斉調べ学習 (競り見学、調理実習) ・パンフレット作成
	自己の生き方を考える学習活動 -キャリア学習	<ul style="list-style-type: none"> ・職業調べ学習 ・中高一貫講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験学習 ・中高一貫講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校訪問 ・中高一貫講演会
	生命の尊さに気づく学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育 ・薬物乱用防止学習 ・情報モラル学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育 ・薬物乱用防止学習 ・情報モラル学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育 ・薬物乱用防止学習 ・情報モラル学習

3 活動事例

よりよい人生を創るために



- 【授業】主体的に学習に向かい、グループで課題解決に向けて考えを深め合う学習を通して、自ら学び考える力を育成する。
- 【生徒会活動】自他の感じ方やとらえ方の違いについて理解し、様々な問題について主体的に取り組もうとする態度を育成する。
- 【職業体験学習】「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断する力を育成する。

よりよい社会を創るために



- 【クルージング】地域のよさや課題について考えを深めることで、「多様性に気づく力」を育成する。
- 【パンフレット】これまで学習してきた成果を羅臼町観光 PR パンフレットの作成、配布を通して「考えを発信する力」を育成する。
- 【野外体験学習】地域の方々を講師に、羅臼漁協でのセリを見学し、その後は羅臼の海で獲れる食材をメインに調理体験。「つながりを尊重する態度」を育成する。

4 成果と課題

ふるさとキャリア教育の観点から、生徒に身に付けさせたい資質・能力の視点を明確化し、教育課程を編成するとともに、各教科や総合的な学習、特別活動で身に付けた資質・能力を様々な場面で効果的に生かせるような工夫をおこなっている。本校の生徒は学校生活への満足度も比較的高く、達成感や成就感も味わっている。今後も、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図るとともに、少子高齢化や情報化社会が進行する中、「人間関係や社会を形成する力」の向上に向けて、お互いの良さを認め合える場面を大切にしていかなければならない。